

# 紹介2 琉球大学教職大学院と教員研修の関わりについて

## 教職大学院の目的・機能

専攻長 杉尾幸司

### 1.学部からの進学者を対象とした教育機能

基礎的・基本的な資質能力を取得した者に対し、さらに、より実践的な指導力・展開力を備え、新しい学校づくりの有力な一員となり得る新人教員の養成。

### 2.現職教員を対象とした教育機能

教職経験を有する現職教員を対象に、地域や学校における指導的役割を果たし得る教員等として不可欠な確かな指導理論と優れた実践力・応用力を備えたスクールリーダー（中核的中堅教員）の養成。

教員研修 → 高度な人材育成

「理論と実践の往還」

中教審答申（令和3年1月26日）：令和3年答申

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して  
～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～

中教審答申（令和4年12月19日）：令和4年答申

「令和の日本型学校教育」を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について  
～「新たな教師の学びの姿」の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成～

# 「一人一人の子供を主語にする学校」 (令和3年答申)

- ・ 多様な子供の現状を把握し、全ての子供たちの可能性を引き出す
- ・ 自分で考えて、判断して、行動できる自立した学習者
- ・ 生涯にわたって能動的（アクティブ）に学び続ける
- ・ 子供に学びを委ねていく

**指導の個別化**：子供一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、  
**指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定**を行う。

**学習の個性化**：教師が子供一人一人に応じた学習活動や学習課題に**取り組む機会を提供**することで、**子供自身が学習が最適となるよう調整**する。

「個別最適な学び」が「孤立した学び」や「分断」に陥らないように、「協働的な学び」において、**集団の中で個が埋没しない**ように、配慮する。

## 新たな教師像

多様な教職員が**個々の指導力を磨く**とともに、**組織、チーム**としての**教育力・課題解決力を高める**（外部との連携も重要）。

子供の**主体的な学びを支援する伴走者**として、**コミュニケーションとファシリテーションの能力**を備えている。

# 「新たな教師の学びの姿」 (令和4年答申)

## 第 I 部 総論 4. (1) 「新たな教師の学びの姿」の実現

個別最適な学び、協働的な学びの充実を通じて、「**主体的・対話的で深い学び**」を実現することは、児童生徒の学びのみならず、**教師の学びにも求められる命題**である。つまり、教師の学びの姿も、**子供たちの学びの相似形**であるといえる。

**主体的に学び続ける教師の姿は、児童生徒にとっても重要なロールモデル**

令和3年答申が示す子供一人一人の学びの姿は、**教師が子供の頃に受けてきた授業とは必ずしも一致しない**可能性がある。また、子供たちの実態も、**教師が自ら経験してきた以上に多様化**している。

令和3年答申を実現するためには、**子供たちの学び（授業観・学習観）の転換とともに、教師自身の学び（研修観）の転換を図る必要がある。**

# 教員研修における教職大学院の役割

## 第 I 部 総論 4. (1) 「新たな教師な学びの姿」の実現

教師一人一人の専門性を高めるとともに、**学校組織が多様な専門性や背景を持つ人材との関わりを常に持ち続ける**とともに、そうした人材を**積極的に取り込んでいく**ことが重要である。

### 教職大学院の役割（養成・教員研修）

- ・ 子供の学びを支える、専門的かつ創造的な高度職業人としての教師の養成や研修
- ・ 教職の高度化に向けた教育委員会との連携をより強化した教員研修体制を構築

**学校内での学びをリードし、多様な教職員集団の中で中核となる高度専門職業人としての教師の養成や研修の実現に向けて貢献する。**

令和4年答申「おわりに」

時代や社会の変化に対応しつつ、**誰一人取り残されず、誰もが自分らしさを大切にしながら学ぶことができ、一人一人の可能性が最大限に引き出される教育を実現**することを期するものである。